

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 Tel.0820-79-1133
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第82号
令和5年7月

内閣府による地震防災対策に関するアンケートが実施されています

この度、内閣府において、今後の地震防災対策に活かすため、日頃の防災意識や対策等に関する調査が実施されています。

本アンケート調査を通して、皆様一人一人が防災意識を高め、日頃から災害への備えに取り組んでいただけますと幸いです。

○回答フォームURL：<https://en.surece.co.jp/kaiko2023/>

○実施期間：7月1日～8月31日（終了予定）

○回答の際、以下の点にご注意ください。

- ・回答は1人1回限りとなります。
- ・選択式の設問は該当する選択肢をチェックしてください。また、記述式の設問は可能な限り具体的にご回答ください。
- ・回答内容は、個人が特定できない形でとりまとめ、今後の防災対策の検討に活用させていただきます。



（二次元バーコード）

担 当：内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当)付
電話番号：03-3501-6996

地震による被害には、津波をはじめ、建物の倒壊、火災、土砂崩れ、液状化現象などがあります。過去の地震では、以下のような災害が発生しました。

関東大震災

- 炎を巻き込んだ竜巻状の空気の渦が発生し大きな被害をもたらす火災旋風が、その猛烈な炎と風によって急速かつ広範囲の火災延焼を引き起こしました。

阪神・淡路大震災

- 神戸市中心部で大規模な火災が発生。また、住宅が倒壊するなどの被害が出ました。そのため、道路が通れなくなるなど交通障害が生じました。

東日本大震災

- 震度7を観測した地域だけでなく、長周期地震動により、震源から遠く離れた大阪市などの高層ビル上層階でも大きな揺れなどが起きました。また、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を巨大な津波が襲った他、東京湾岸地域では液状化現象により大きな被害が出ました。





大地震に備えて事前にするべきこと



家族で話し合う

大地震で交通手段が途絶え、しばらく帰宅できない場合の対応について、家族で話し合っておきましょう。



安否確認手段を決めておく

家族や自宅の状況が分からないと、不安になって急いで帰りたくなります。災害が起きると、電話はとてつなかりにくくなります。**無事がすぐにわかるよう、電話を直接かける以外の複数の安否確認手段を決めておきましょう。**

電話を直接かける以外の安否確認手段の例

●災害用伝言ダイヤル【171】

電話機から音声の伝言を録音・再生するサービス。

●災害用伝言板（Web171）

インターネット上で、安否情報を登録・確認するサービス。

●携帯電話を利用した災害用伝言版サービス（携帯電話各社提供）

携帯電話で安否情報を登録・確認するサービス。

●携帯電話を利用した災害用音声お届けサービス（携帯電話各社提供）

音声通信に代わりパケット通信により音声メッセージをメールで送信するサービス。

●SNS

インターネット上で社会的ネットワークを構築するのを支援する会員制サービス。多数の利用者に対するリアルタイムでの情報発信が可能。また投稿によって閲覧者が情報発信に参加することができる。



周りの人たちと話し合う

しばらく帰宅できない場合に備えて、自宅や近所にいる子どもやお年寄りへの支援策について周りの人たちと話し合うなど、地域の連携を深めておくことも重要な取組の1つです。

内閣府リーフレット引用

来館者紹介

5・6月 見学団体

大島地区民生・児童委員協議会
山口県退職校長園長会大島支部

出前講座

五反田地区自主防災会

町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。
平常時(9時～17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。
なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。

山口県大島防災センター

Tel(0820)79-1133 Fax(0820)72-1166 E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

